



2023年5月12日

各位

会社名 フ リ ュ ー 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 三 嶋 隆
(コード番号:6238 東証プライム)
問合せ先 管理本部 本部長 佐田 良子
(TEL. 03-5728-1761)

報告セグメント変更に関するお知らせ

当社は、本日(2023年5月12日)開催の取締役会において、2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)より、報告セグメントを下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、従来「プリントシール」「コンテンツ・メディア」「キャラクタ・マーチャンダイジング」「ゲーム」の4つを報告セグメントとしておりましたが、2024年3月期を初年度とする「中期ビジョン」を達成するために、ビジネスモデルを軸としたマネジメント体制に変更し、さらなる企業成長及び企業価値向上を目指します。

2024年3月期より、「世界観ビジネス(SKB)」「ガールズトレンドビジネス(GTB)」「フリーニュービジネス(FNB)」の3つへ報告セグメントを変更することといたしました。

2. 変更の概要

(1) 変更前セグメント区分

セグメント	主な事業
プリントシール	アミューズメント施設 直営店収入
コンテンツ・メディア	ピクトリンク カラーコンタクトレンズ販売 その他(コンテンツサービス) その他(レタッチソフト) その他(広告プランニング) その他(オルドット)
キャラクタ・マーチャンダイジング	クレーンゲーム景品 海外物販 高価格帯ホビー その他(出版・くじ)
ゲーム	家庭用ゲームソフト ゲームアプリ アニメ

(2) 変更後セグメント区分

セグメント	主な事業
世界観ビジネス (SKB)	クレーンゲーム景品 海外物販 高価格帯ホビー その他(くじ)
ガールズトレンドビジネス (GTB)	プリントシール(アミューズメント施設) プリントシール(直営店収入) ピクトリンク その他(コンテンツサービス) その他(レタッチソフト)
フューチャービジネス (FNB)	家庭用ゲームソフト アニメ ゲームアプリ カラーコンタクトレンズ販売 その他(広告プランニング) その他(オールドット)

※出版事業については2023年3月期で事業撤退しております。

3. 変更の時期

2024年3月期第1四半期決算(2023年8月予定)より、新セグメントに変更いたします。

4. 中期ビジョンについて

次ページ以降参照ください。



FuRyu

Precious days, always

中期ビジョン

(2023年度－2027年度)

中期ビジョン 目指す経営指標と定量目標

経営戦略

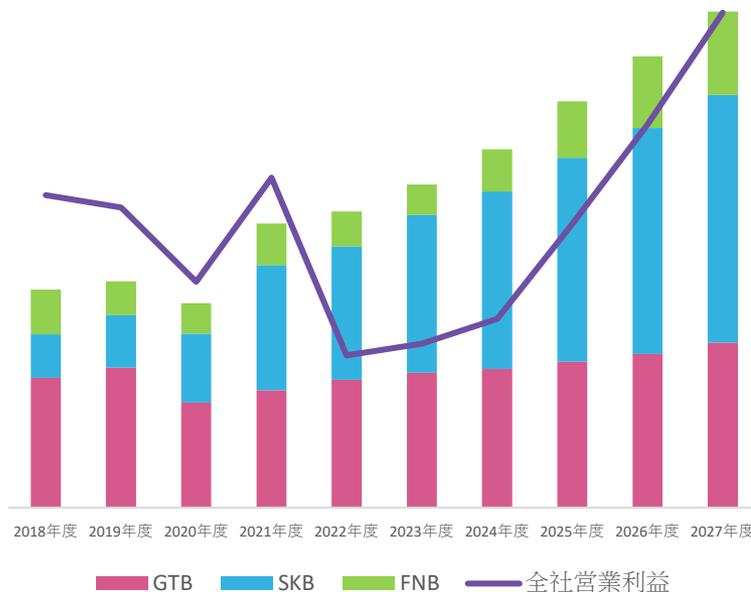
成長力：
世界観ビジネス (SKB)
収益力：
ガールズトレンドビジネス (GTB)
将来性：
フリューニュービジネス (FNB)

目指す経営指標

ROE : 15%以上

営業利益率 : 10%以上

成長イメージ



2022年度 実績比

2027年度
売上

600億円

5年CAGR 10%

2027年度
営業利益

60億円

5年CAGR 26%



基本方針

世界中に笑顔を届ける総合エンタテインメント企業

世界観ビジネス (SKB)

成長力

- ・有力著作権の取得
- ・フィギュアの拡大
- ・EC販売の拡大
- ・海外展開加速

成長ドライバー

- ・フィギュアの拡大

ガールズトレンドビジネス (GTB)

収益力

- ・プリ体験の価値向上
- ・LTV最大化
- ・強みを活用したプリ関連事業拡大

成長ドライバー

- ・LTV最大化

フリーニュービジネス (FNB)

将来性

- ・新規事業における戦略の再構築
- ・1-2年で新規事業の選択と集中
- ・集中事業に経営資源を投入
- ・未来の売上100億事業を創出

組織風土改革

■動的ビジョン(注)の実現：社員の自律的なキャリアアップとモチベーション向上による社員と会社の成長実現

- ・企業価値向上を担う多様な人材の育成
- ・働きがいのある職場環境の推進
- ・多才で多様な人材リソースの獲得
- ・チャレンジとチームワークを促す仕組みづくり

(注) 個人の「やりたいこと」と「できること」、会社の「やらねばならないこと」を重ね合わせていくことで社員と会社の成長をめざす
フリーで働く人たちの大切な価値観

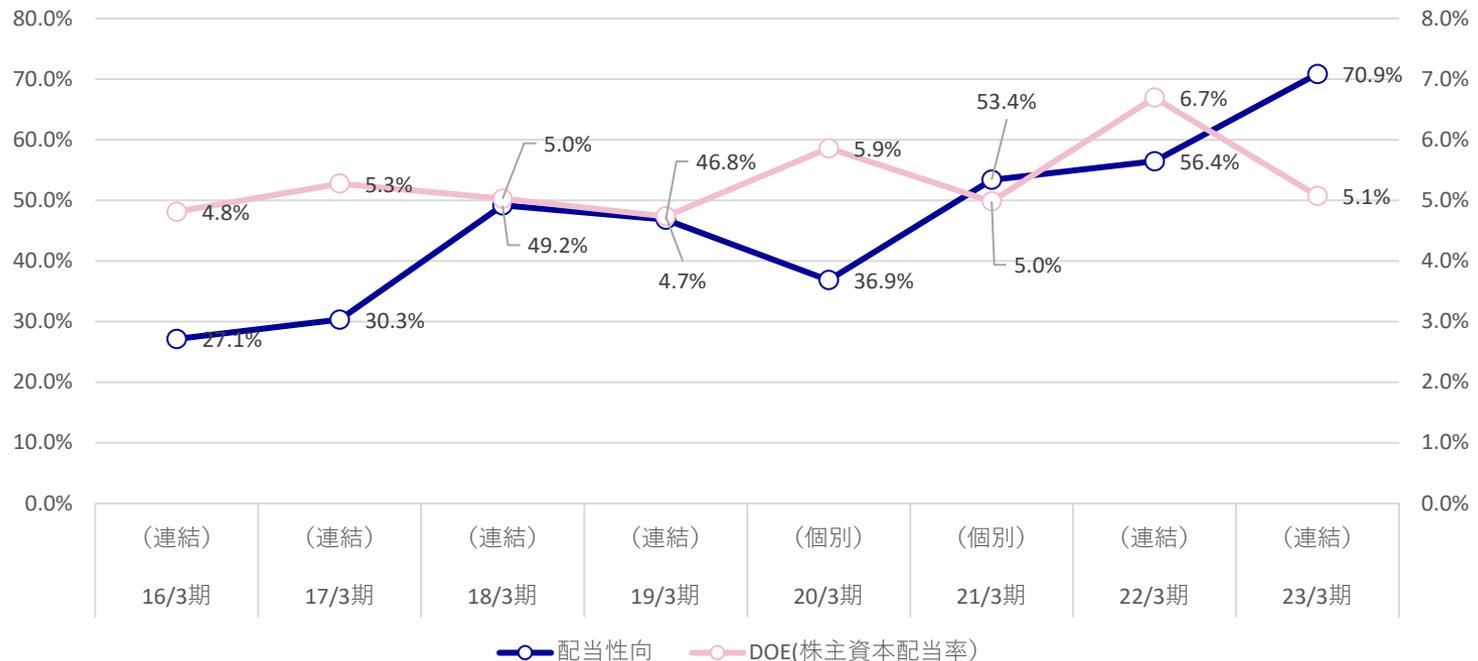
ROE向上に対する考え方

株主資本コストを上回る水準を意識し、2028年3月期ROE15%以上を目指す

	2022/03 (実績)	2023/03 (実績)	2028/03 (目標)	ROE向上のための方針
	12.3%	7.0%	15.1%	15%以上の水準を維持
収益性 ①売上高純利益率 当期純利益 ÷ 売上高	7.4%	4.0%	7.4%	GTBの高水準利益率維持 SKBの利益率向上
資産効率性 ②総資産回転率 売上高 ÷ 総資産	1.31回	1.35回	1.44回	不要資産の圧縮 売上高の増加
財務レバレッジ ③総資産 ÷ 自己資本	1.27倍	1.31倍	1.41倍	現状の自己資本比率水準を維持

配当性向40%またはD O E（株主資本配当率）5%を参考指標として配当

$$\text{ROE} \times \text{配当性向} = \text{DOE}$$



※2020年3月期、2021年3月期は個別決算のため参考値として記載しております。